

# 新型コロナウイルス感染症対策移行期間での テニストーナメント再開ガイドライン

## 目次

はじめに	2
I 遵守事項	
1. 大会開催決定に際して	2
2. 大会主催者が準備等すべき事項	2
3. 参加選手募集時の対応	3
4. 当日の参加選手受付時の留意事項	4
5. 大会参加選手への対応	4
6. 選手の試合中の遵守事項	4
7. 大会スタッフに係わる施策	5
II. リスク管理	
1. 留意事項	6

2020年7月30日

京都府テニス協会

はじめに

テニス大会の開催・実施時の感染防止策について、①参加募集時の対応、②当日の参加受付時の留意事項、③大会参加者への対応、④大会主催者が準備等すべき事項、⑤参加者がテニスを行う際の留意点を定めています。

テニスは、社会的距離が確保しやすいスポーツといわれています。しかし、プレイ自体で社会的距離が確保可能でも、プレイ前後の試合会場への移動、クラブハウス内での時間、コンディショニング・練習、対応者との打ち合わせ等々、諸々の行動が伴います。

このテニストーナメント再開ガイドラインは、JTA公式テニストーナメント再開ガイドラインを基本に、コロナウイルス感染症拡大防止のため、京都府市町の大会主催者が遵守すべき事項をまとめたものです。

## I. 遵守事項

### 1. 大会開催決定に際して

- ① 京都府市町のスポーツイベント開催方針に従うこと
- ② 日本スポーツ協会「スポーツイベント再開ガイドライン」を遵守すること
- ③ 京都府テニス協会トーナメント再開ガイドラインの適用施策の実施を確実にすること

### 2. 大会主催者が準備等すべき事項

- ① 大会本部用として、体温計（非接触型が望ましい）、マスク、フェイスシールド、ビニール手袋を複数準備すること
- ② 手洗い場所
  - (ア) 手洗い場には施設側が石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意されているか確認すること、用意されていない場合は用意すること
  - (イ) 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
  - (ウ) 布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること
  - (エ) 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ③ 更衣室、休憩・待機スペース
  - (ア) 基本的に利用を避ける形で大会運営を行うものとするが、雨天、落雷に備え大会規模に応じた待機スペースを確保すること
  - (イ) 広さにはゆとりを持たせ、他の参加選手と密になることを避けること
  - (ウ) ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加選手の数を制限する等の措置を講じること
  - (エ) 室内又はスペース内で複数の参加選手が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
  - (オ) 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
  - (カ) スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする
- ④ 洗面所
  - (ア) トイレ内の複数の参加選手が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー、便座、便器蓋の表と裏側等）については、こまめに消毒すること

- (イ) トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示（掲示）すること
- (ウ) 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- (エ) 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- (オ) 参加選手にマイタオルの持参を求め、布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること

#### ⑤ 飲食物の提供時

- (ア) 大会からの飲食物の提供は出来るだけ避けること
- (イ) 提供する場合は以下の点に留意する
  - ・ 参加選手が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
  - ・ スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること

#### ⑥ 大会会場

- (ア) 大会会場を、関係者の種別、感染症対策別に、立ち入り可能区域の区分（ゾーニング）をレベル毎に明確にすること
- (イ) 人が集まると予想される場所には、離隔距離を表示すること
- (ウ) 換気設備を適切に運転すること
- (エ) 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

#### ⑦ ゴミの廃棄

- (ア) 選手の出すゴミは各自持ち帰らせること
- (イ) 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- (ウ) マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒すること

### 3. 参加選手募集時の対応

#### ① 参加選手が遵守すべき事項として以下を大会要項に明示すること

- (ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（イベント当日に確認を行います）（注：Webでの入力など確認の方法については別途記載すること）
  - ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (イ) マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をしている際にはマスクを着用すること）
- (ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- (エ) 他の参加選手、大会スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安（最低1m））に確保すること
- (オ) 会場及びその周辺で大きな声で会話、応援等をしないこと
- (カ) 感染防止のために大会主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- (キ) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

#### 4.当日の参加選手受付時の留意事項

- ①受付には、手指消毒剤を設置すること
- ②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある選手は出場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し、37.5度以上の者は出場を制限することも考えられる）
- ③人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④参加選手が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤受付を行うスタッフには、マスク・フェイスシールド・ビニール手袋を着用させること
- ⑥事前にオーダーオブプレーを発表し、選手の会場への集合時間の分散を図ること。当日の受付のほか、大会前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること
- ⑦インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付を活用すること
- ⑧参加選手から以下の情報の提出を求めること
  - (ア) 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
  - (イ) 大会当日の体温
  - (ウ) 大会前2週間における以下の事項の有無
    - ・ 平熱を超える発熱
    - ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
    - ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - ・ 嗅覚や味覚の異常
    - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
    - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

#### 5.大会参加選手への対応

- ①マスク等の準備
  - (ア) 参加選手がマスクを準備しているか確認すること
  - (イ) 参加選手の受付や着替え等、運動を行っていない間については、マスクの着用を求めること
  - (ウ) 試合中のマスクの着用は選手の判断によるものとする。ただし、マスク着用による熱中症や酸欠に対する十分な注意喚起を行うこと
  - (エ) 大会前後のミーティングや懇親会等の開催は避けること。やむを得ず開催する場合は、短時間とし、三つの密(密集・密接・密閉)を避けること
  - (オ) 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

#### 6.選手の試合中の遵守事項（要項・プログラム・HPに掲載し選手への周知に努めること）

- ①十分な距離の確保
  - (ア) インプレー中及びポイント間（ポイントとポイントの間）は対戦相手、パートナーとの距離を2メートル以上確保すること
  - (イ) 試合の始めと終わりの挨拶は握手でない方法（お辞儀）で行うこと
  - (ウ) チェンジエンドは、時計回りに行い、対戦相手、パートナーとの距離を2メートル以

上確保すること

- ②ラケットや自らの試合で使用するボールなどプレイに必要なもの以外にはコートサーフェスも含めできるだけ手で触れないこと
- ③タオルの共用はしないこと
- ④タオルは手が触れる面と顔に触れる面を使い分けること
- ⑤プレイ中は手で顔にふれるのを避けること
- ⑥ラケット・水筒をはじめとする用具をパートナーや対戦相手と共有しないこと
- ⑦咳、くしゃみの際は腕で口を覆うこと
- ⑧唾や痰をはくことは極力行わないこと

## 7.大会スタッフに係わる施策

- ①本ガイドラインの周知徹底を図ること
- ②大会スタッフから以下の情報の提出を求めること
  - (ア) 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
  - (イ) 大会当日の体温
  - (ウ) 大会前2週間における以下の事項の有無
    - ・ 平熱を超える発熱
    - ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
    - ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - ・ 嗅覚や味覚の異常
    - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
    - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③他のスタッフから常に2メートルの距離を保つこと（屋内外）
- ④良好な衛生状態を維持すること
- ⑤スタッフは、常にマスクを着用すること
  - (ア) ローピングのスタッフ
    - ・ 選手との会話時はフェイスシールドを着用すること
- ⑥トイレの使用前後や物の表面に触れた後も含めて定期的に手を洗い、消毒すること
- ⑦可能な限り物の表面に触れないようにすること
- ⑧電話やコンピューターのキーボードを含め、定期的に机の周りを消毒すること
- ⑨私物を共有しないこと
- ⑩新型コロナウイルス感染症の症状が出た場合、また症状のある人と接触した場合は会場に入場しないこと。トーナメントディレクターに連絡し、必要に応じて医師の診断を受けること

## II. リスク管理

### 1. 留意事項

大会主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、イベント当日に選手・スタッフより提出を求めた情報（上記4-⑧、7-②）について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと。

また、大会終了後に、選手・スタッフから新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと。

加えて、現在、導入が始まっているスマートフォンを活用した接触確認アプリは接触率の低減や感染の拡大防止に寄与することを踏まえ、活用を検討する。